

京都大学基礎物理学研究所運営参加に関するアンケートについて（佐藤勝彦氏より）

経過報告

昨年末の理論懇運営委員会及び総会において報告され、またそれに基づき議論されましたように、平成2年度の予算成立をもって 京都大学基礎物理学研究所と広島大学理論物理学研究所は合併し、10部門からなる共同利用研究所として新たに出発します。行政的には1つの研究所となるものの当面建物の関係で理論研はそのまま京大宇治キャンパスに移転し、基研（北白川）とは異なった運営をしばらくとることが暫定的にきまっています。

広島大学理論物理学研究所は日本における宇宙論研究の中心の1つであり、現在宇宙関係としては

教授 富田憲二
助教授 佐々木節、須藤靖

が在任しています。また 先日公募されていた基研教授には 中村卓史（現、高エネルギー研助教授）が近く着任の予定です。従って新基礎物理学研究所は宇宙物理関係2講座を含む共同利用研となります。

現在基研の運営形態は全国の研究者組織（素粒子論グループ、物性100人委員会）の選挙により選ばれた研究部員会議、運営委員会（いずれも基研所員、京大関係者が委員に加わる）等によって人事、予算が決定され運営されています。これまで宇宙物理関係者は素粒子論グループのメンバーになることにより運営に参加していました。しかし今年はじめに行われた 研究部員の半数改選の選挙にあたっては、従来1-2名選ばれていた宇宙物理関係者の数はゼロになってしまいました。これはこれまでの選挙では考えられなかった組織だった選挙運動がおこなわれ、最低当選投票数が70票余りになったためです。この事態からも明らかなように単に理論天文関係者が素粒子論グループのメンバーに加わるというだけでは部員をおくこともきわめて困難な事態になってきました。従って 理論天文、宇宙物理関係者が独立な基盤を持つことが発言権を維持することに不可欠のように思われます。1月の基研部員会議において、昨年末の理論懇総会の決議に基づき、佐藤勝彦と佐々木節は理論懇を基研運営に関する基礎母胎として認めるよう要請を行いました。

現在新基研の運営形態を決定するために 将来計画委員会が基研内に設置されその審議を行っております。理論懇の要請もこの委員会で議論されることになっていますが、好意的意見もあるものの、理論天文関係者も素粒子論グループに入ればそれでよいのではないか等の意見も出、困難な状況にあると考えられます。

参考に現在の研究部員会、運営委員会の構成を記します。

	基研所内	京大(所外)	素粒子原子核	物性	その他	計
運営委	5	4	6	3	1	19名
部員会	14	-	20	10	-	44名

アンケートは、事務局で集めるのが筋ですが、学会までに集計して、まとめるたいと思いますので、東京大学理学部物理学教室、佐藤勝彦氏までご返送下さい(ラベル同封)。

アンケート締切 : 4月28日

運営委員会と総会について

天文学会春季年会中に、運営委員会と総会を開きます。運営委員会は、4月8日講演終了後、京大会館ロビーで、総会は、4月9日講演終了後B会場で行ないます。

新入会員

中山 薫二
〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室
Tel:075-753-3890
Fax:075-753-3897
Email:B53100@KYOTO (N1-net)

住所変更

小 島 康 史
〒158 東京都世田谷区深沢2-1-1
東京都立大学 理学部
Tel:03-717-0111 x.3349
Fax:03-725-8101
Email:

京都大学理学部宇宙物理学教室内
理論天文学懇談会事務局